

第4次菊川市男女共同参画プラン 令和7年度 進捗状況

第4次菊川市男女共同参画プランでは、誰もが多様性を認め合い自分らしく輝くまち菊川を目指し、以下の4つを目標として男女共同参画事業に取り組んだ。

基本理念

誰もが多様性を認め合い 自分らしく輝くまち 菊川

基本目標

- 1.男女共同参画社会実現に向けた基盤の整備
- 2.誰もが安心できる暮らしの実現
- 3.誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現(ワーク・ライフ・バランスの実現)
- 4.あらゆる分野における女性の参画拡大(女性活躍のさらなる推進)

【事業の実施状況】

プランに位置づけた事業数	98
○(計画通り実施)	96
△(計画の一部実施)	1
×(問題があり実施できなかった)	0
－(その他)	1

第4次菊川市男女共同参画プラン 令和7年度 事業進捗状況

資料2-1

◆計画期間: 令和4年度～令和8年度

事業実施状況(全98事業)

(○:計画通り実施、△:計画の一部実施、×:実施できなかった、-:その他)

○	96	事業/98事業
△	1	事業/98事業
×	0	事業/98事業
-	1	事業/98事業

基本目標1 男女共同参画社会実現に向けた基盤の整備

基本施策(1) 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
1	幼児への男女共同参画啓発事業	地域支援課	実施希望のあった市内14園で、男女共同参画の意識啓発につながる絵本の読み聞かせを市民団体やなぎ文庫と実施した。また、絵本の選定理由等をまとめたチラシを保育士へ配布した。	○	○	○	○	継続して実施する。 園からの事後アンケートの結果を参考に、絵本の選定や子ども達に伝わりやすい説明について検討する。
2	小学生への男女共同参画啓発事業	地域支援課	希望のあった5校で4～6年生を対象に、菊川市立総合病院の男性看護師、菊川市消防本部の女性消防士、社会福祉法人和松会の男性介護支援員、菊川警察署の女性警察官、社会福祉法人河城福祉会の男性保育士を講師として講話を実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。 講師となる人材の情報収集を行う。
3	中高生への男女共同参画啓発事業	子育て応援課	思春期教育として、市内全中学校に出向き、講話を実施した。生命誕生の講話をはじめ、赤ちゃん人形の抱っこ、オムツ交換を体験した。	○	×	○	○	継続して実施する。
		社会教育課	青少年ボランティア体験活動において、小中高生によるこども園や幼稚園での活動が延べ372件行われた。	-	-			継続して実施する。 ボランティア体験の受入施設を増やせるよう検討していく。
4	固定的な性別役割分担意識にとらわれない進路指導の充実	学校教育課	「特別の教科 道徳」や、総合的な学習の時間、学級活動等で自分の将来の姿や進路について考える機会を設けた。	○	○	○	○	発達段階に応じて学習内容に組み込めるよう計画的に行う。
5	保護者に対する男女共同参画の意識啓発	社会教育課	家庭教育学級開設説明会時に、男女共同参画に関する出前行政講座やお父さんの子育て手帳の紹介を行った。	○	○	○	○	家庭教育学級に参加している父親を活動報告等で紹介し、子育てや家庭教育は母親だけでなくという意識を広めていく。
		地域支援課	職業講話の講師からコメントをもらい、1枚のチラシにまとめ、配布した。					継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
6	保育士等に対する男女共同参画の意識啓発	地域支援課	幼児施設連絡会にて園長に、読み聞かせ訪問時にて担任の先生に、絵本の選定理由等をまとめたチラシを配布することで保育士への男女共同参画意識を醸成した。	○	○	○	○	継続して実施する。
7	教職員に対する男女共同参画の意識啓発	学校教育課	研修会の中で男女共同参画について啓発を行った。	○	○	○	○	教職員研修を通じて男女共同参画に関する啓発を継続する。
8	図書館における意識啓発	図書館	男女共同参画についての資料を取集し、男女共同参画週間に合わせてパンフレット等と共に展示した。	○	○	○	○	継続して実施する。
9	男女共同参画週間における啓発活動	地域支援課	市ホームページ及び各種SNSに掲載した。また、市内公共施設やイベントで啓発グッズの配布及びのぼり旗を設置した。	○	○	○	○	継続して実施する。
10	男女共同参画に関するまちづくり出前行政講座の実施	地域支援課	出前行政講座の依頼がなかったため、代替案として地区センターへ「男女共同参画コーナー」として男女共同参画週間についての掲示物を作成、掲示し、市民の意識啓発を図った。	△	○	○	○	出前行政講座を実施できるよう、講座の周知を実施する。また、依頼がない場合は代替案を検討し実施する。
11	男女共同参画についての情報発信	地域支援課	市ホームページ等の更新を17回行い、広報菊川で年2回男女共同参画に関する企業の取り組みを掲載した。	○	○	○	○	継続して実施する。
12	市民意識調査の実施	地域支援課	市民1,000人に向けてアンケートを送付し、346人から回答を得た。アンケート結果については市ホームページに掲載した。	—	—	—	○	回答率をあげるために実施方法等を検討する。
13	市内事業所アンケートの実施	商工観光課	市内企業104社を対象にアンケートを実施し、25社から回答を得た。	○	○	○	○	送付先企業を従業員20人以上の市内全事業所とした。回答率が低いことが課題であることから、設問数の削減等、負担を減らし、回答率の向上を図る。
		地域支援課	市内の133事業所へアンケートを送付し、回答のあった31事業所の調査結果を取りまとめた。					回答率をあげるために実施方法等を検討する。
14	市職員を対象とした意識調査の実施	地域支援課	実施年度ではないので未実施。	—	○	—	—	令和8年度に実施予定。

基本施策(2) 多様な価値観、人権と性を尊重する意識づくり

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
15	人権を尊重し、ジェンダーの平等に配慮した表現の徹底	市長公室	広報菊川やSNSによる情報発信時に固定的な性別役割分担意識等に配慮した適切な表現やイラストを利用した。	○	○	○	○	引き続き、広報菊川やSNSによる情報発信時に固定的な性別役割分担意識等に配慮した適切な表現やイラストを利用する。
16	身体的性差、相互尊重の教育の推進	学校教育課	「特別の教科 道徳」において、男女が互いに認め、尊重することを取り上げた授業を行った。	○	○	○	○	発達段階に応じて学習内容に組み込むよう計画的に行う。
17	人権擁護委員への男女共同参画の意識啓発	市民課	県内施設に積極的に研修に行き知識向上に努めた。	○	○	○	○	継続して実施する。
18	人権擁護委員による啓発活動	市民課	保育園・こども園・小学校で計7回の人権教室を開催し、人権の大切さを伝え、いじめや差別をなくすための啓発を行った。	○	○	○	○	今後も積極的に人権教室を開催していく。
19	人権相談事業の実施	市民課	行政相談員、民生委員・児童委員と合同で、菊川地区及び小笠地区において、各月2回心配ごと相談を開催した。また、6月1日の「人権擁護委員の日」と、12月の「人権週間」に人権相談窓口を設け、相談に応じた。	○	○	○	○	引き続き、今年度同様他の相談員と連携しながら、心配ごと相談を行う。また、「人権擁護委員の日」や「人権週間」についても、人権相談窓口を設けて相談に応じる。
20	性別により抱える問題や悩みなどに関する相談窓口の周知	市長公室	広報菊川「相談窓口」に「あざれあ女性相談、男性相談」、「LGBT相談」について毎月掲載した。	○	○	○	○	引き続き、広報菊川「相談窓口」に相談窓口を掲載する。
21	多様な性のあり方に関する正しい理解と配慮の促進	学校教育課	「特別の教科 道徳」や、総合的な学習の時間、学級活動等で考える機会を設けた。	○	○	○	○	発達段階に応じて学習内容に組み込むよう計画的に行う。
		地域支援課	市ホームページ等で周知した。市職員向けに性の多様性研修を実施した。					継続して実施する。
22	パートナーシップ制度についての情報収集・研究	地域支援課	病院の手続きや市営住宅の入居、メモリアルカード受領等、宣誓カードをもっている方が使える行政サービスについて更新確認を各課にした。	○	○	○	○	継続して実施する。

基本目標2 誰もが安心できる暮らしの実現

基本施策(3) あらゆる暴力の根絶

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
23	暴力根絶に向けた啓発と情報提供の充実	福祉課	DVに関する啓発ポスターの掲示やカードを配架した。					DV等に関する気づきのため、啓発事業を継続して行う。
		地域支援課	4月の「若年層の性暴力被害予防月間」に、チラシを掲示した。また、東館2階の女性用トイレ及び男性用トイレに相談窓口のカードを配架した。広報菊川11月号に女性に対する暴力をなくす運動について掲載した。	○	○	○	○	継続して実施する。
24	犯罪被害者等支援総合支援窓口の設置	地域支援課	市ホームページに相談窓口の情報を掲載している。また、犯罪被害者支援センターより講師を招き職員研修を実施した。また、1件相談を行った。	○	○	○	○	継続して周知を図っていく。
25	DVに関する正しい理解の促進	福祉課	DV相談利用者にDVに関する資料を配布した。					引き続き、被害者や相談者への資料を用いた説明を継続していく。
		地域支援課	4月の「若年層の性暴力被害予防月間」に、チラシを掲示した。また、東館2階の女性用トイレ及び男性用トイレに相談窓口のカードを配架した。広報菊川11月号に女性に対する暴力をなくす運動について掲載した。	○	○	○	○	継続して実施する。
26	DV相談の実施	福祉課	年間を通して広報菊川に掲載し相談窓口の周知を行い、相談事業を実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。
27	被害者の自立支援	福祉課	DV被害者に対し、33人の相談受付を実施した。	○	○	○	○	自立に向けた支援を実施する。
28	警察、医師会、弁護士会等との連携	子育て応援課	関係機関と連携し、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底すると共に、面前DVに伴う心理的虐待、その他児童虐待とその予防について支援対応を行った。					継続して実施する。
		福祉課	警察、医師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会とは、子育て応援課、地域包括支援センターとともに、必要に応じ随時連携を図っている。令和元年度からは要保護児童対策地域協議会に毎月参加することとしている。	○	○	○	○	今後も各機関との連携を図っていく。
		長寿介護課	警察、医師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会とは、子育て応援課、福祉課とともに、必要に応じ随時連携を図っている。					今後も各機関との連携を図っていく。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
29	児童虐待防止対策の充実	子育て応援課	要保護児童対策地域協議会実務者会議を12回実施し、関係機関との情報共有及び支援内容等を検討した。また、関係機関向けに「応用行動分析を用いた子どもの行動の理解と支援」をテーマに講演会を1回開催、43人の参加があった。関係機関に対し、児童虐待防止啓発及び相談先窓口を記載したリーフレットを配布。また、教育委員会と連携し、各小中学校から保護者へ、また各中学校から児童生徒タブレットへ啓発・相談先の配信を行った。	○	○	○	○	引き続き関係機関と連携を図り支援内容を検討する。また、研修会を11月に開催する。児童虐待防止に関するリーフレットを配布すると共に相談先窓口の紹介を行う。こども向けの啓発リーフレット作成を検討する。
30	ハラスメント防止のための広報と意識啓発	地域支援課	広報菊川2月号でハラスメント相談窓口を周知した。	○	○	○	○	継続して実施する。
31	職場におけるハラスメント防止の意識啓発	商工観光課	地域支援課から配信依頼のあった啓発情報等を市内企業へメールで配信した。	○	○	○	○	継続して実施する。
		総務課	課長級職員を対象にハラスメント防止に関する研修を実施した。					継続して実施する。

基本施策(4) 生涯を通じた健康支援

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
32	性と生殖の健康・権利に関する啓発	子育て応援課	中学2年の講演においてプレコンセプションケアの内容として、健康増進の話と人生デザイン等の話を実施した。また、市内小中学校養護教諭向けにプレコンサポーターの啓発も実施した。	○	○	○	○	内容を見直しながら、継続して実施していく。
33	小・中学校における性教育の推進・充実	学校教育課	学級活動、保健体育等で発達段階に応じた性に関する学習を行った。	○	○	○	○	発達段階に応じて学習内容に組み込めるよう計画的に行う。
34	思春期の健康教育の実施	子育て応援課	市内公立小・中学校のすべてで思春期講演会を実施することができた。	○	○	○	○	引き続き、思春期講演会を実施していく。
35	不妊に関する啓発	子育て応援課	不妊・不育治療費助成のチラシをプラザけやきに配架した。また過去3年間に申請があった医療機関、市企業連携先等にチラシ等を配布した。制度については市ホームページや広報菊川、SNS等で周知した。	○	○	○	○	継続し、市民に広く周知していく。
36	不妊・不育治療費助成事業	子育て応援課	令和7年度の申請は、不妊症治療費助成について37件、不育症治療費助成については0件であった。	○	○	○	○	継続し、制度の周知を実施していく。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
37	乳児家庭訪問	子育て応援課	新生児及び乳児訪問を実施した。訪問対象は259人(令和7年2月～令和8年1月)、実施人数は250人(実施率96.5%)、その他来所や、里帰り先での訪問の他、出生直後に転出等やむを得ない理由がない限り全ての人に実施することができた。	○	○	○	○	継続して実施する。
38	女性特有の病気を 含めた各種検診	健康づくり課	5大がん検診の受診者数は11,054人であった。レディースデー(託児対応可)を3日間設定し、実施した。託児希望は14人あり、すべて受け入れることができた。	○	○	○	○	引き続き、子育て世代が受診しやすい環境を整えていく。
39	健康に関する相談 窓口	健康づくり課	定例健康相談を12回実施し、随時電話や来所にて対応した。また、健康イベントを3回、地区センターでの出張健康チェックを13回実施した。	○	○	○	○	定例健康相談を11回、健康イベントを3回、地区センターでの健康チェックを13回実施予定。市民が相談しやすい体制、環境を見直していく。
40	成人健康教育	健康づくり課	出張健康チェックを含む出前行政講座等の健康教育を45回実施した。また、市民向けの講演会を2回実施し、その他に運動教室、栄養教室、健康づくり推進員対象の研修等を実施した。	○	○	○	○	市民の健康維持・向上に向けて出前行政講座、研修会等の内容を見直していく。
41	こころの健康に関する啓発及び支援	健康づくり課	自殺予防週間に合わせた街頭キャンペーンを2回、市内事業所34カ所への自殺予防啓発品・相談窓口紹介チラシ等の配布を行った。また、「自殺予防週間」、「自殺対策強化月間」には市内図書館2箇所、プラザけやき、プラザきくろ、中央公民館で、予防啓発コーナーの設置を行った。	○	○	○	○	引き続き、様々な機会を通じて啓発を行い、市内企業への資料提供等を実施していく。
42	生涯学習活動の推進	社会教育課	ステップアップ講座は10回講座を12種、5回講座を6種、1回講座を10種企画し、26講座(2講座休講)に延べ340人が参加した。いきいきカレッジ菊川を2会場で実施し、35人が参加した。	○	○	○	○	申込数が多い運動系講座や夜間・土日に開催する講座の増設を検討する。
43	介護予防普及啓発事業の実施	長寿介護課	介護予防普及啓発事業77回、地域介護予防活動支援事業80回、地域リハビリテーション活動支援事業20回、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 高齢者サロン等への訪問3回(※健康課題に関するリーフレット説明96回)を実施した。	○	○	○	○	既存事業を継続しながら、開催する会場(地区センター)を変更し、新たな参加者の獲得を目指していく。
44	地域介護予防活動支援事業の実施	長寿介護課	介護予防リーダー養成講座11回、介護予防リーダーフォローアップ研修等3回、介護予防教室等運営補助52回、リハビリ専門職の地域サロンへの派遣指導20回を実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
45	民生委員・児童委員による高齢者世帯の見守り	福祉課	障がい者等を含む3,832人に訪問を行った。(うち一人暮らし高齢者1,178人)	○	○	○	○	継続して実施する。
46	高齢者世帯への支援	長寿介護課	民生委員・児童委員との連絡会を6回開催し、連携を深める取組をした。 高齢者見守り情報！「みんなの目」を年4回発行し、高齢者を見守る際のポイントや認知症の早期発見・声掛けのし方等の情報提供を行った。	○	○	○	○	民生委員・児童委員とは、今後も連絡会・情報交換会を開催し、顔の見える関係をつくり連携を密にしてい く。 高齢者見守り協力機関・団体には、有益な情報の提供と、協力体制強化に取り組んでいく。

基本施策(5) 様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
47	ひとり親家庭等の相談支援	子育て応援課	随時、窓口等にて相談支援を実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。
48	児童扶養手当事業	子育て応援課	延べ2,692人、118,560,460円を助成した。	○	○	○	○	継続して実施する。
49	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て応援課	延べ2,132件、5,466,213円を助成した。	○	○	○	○	継続して実施する。
50	自立支援給付金事業	子育て応援課	自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金の事前相談を受け、自立支援教育訓練給付金は1件200,000円、高等職業訓練促進給付金は、2件2,665,500円を支給した。	○	○	○	○	継続して実施する。
51	要保護・準要保護児童生徒の世帯に対する就学援助	教育総務課	対象となる要保護・準要保護児童生徒に支給を行った。 就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品等の援助を行った。 要保護児童生徒：2人(小学校) 準要保護児童生徒：小学校・180人、中学校・109人(令和8年3月31日現在) 新小学1年生及び新中学1年生に対し入学前支給を行った。 新小学1年生・20人 新中学1年生・29人	○	○	○	○	就学援助制度の周知徹底を引き続き行うとともに、適正な支給基準について研究をする。
52	認知症サポーターの養成	長寿介護課	認知症サポーター養成講座を10回、ステップアップ講座を1回行った。	○	○	○	○	今後も様々な世代に対して認知症サポーター養成講座を周知し、市民の認知症に対する理解促進を推進していく。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
53	外国人住民への支援	地域支援課	行政文書の多言語化に加え、外国人相談窓口での相談対応、情報提供を実施した。また初期日本語教室を開催し、日本語の習得を図るとともに多文化共生の場を提供した。	○	○	○	○	継続して実施する。

基本目標3 誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現(ワーク・ライフ・バランスの実現)

基本施策(6) 男性にとっての男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
54	男性が家事・育児・介護等に参加するための情報提供	地域支援課	働く男性の育児・介護への参加を促進するため、企業向けセミナーで育児・介護に関する制度の説明を行い、企業側の意識啓発を図った。	○	○	○	○	継続して実施するとともに、事例紹介等ができるよう検討する。
55	男性が家事・育児・介護等に参加するための講座等の開催	健康づくり課	初心者向け料理教室を4回1クールで実施し、実8人(延26人)が参加した。うち5人が男性参加者であった。	○	○	○	○	料理に不慣れな初心者を対象とし、調理技術の向上や知識の獲得による生活面の自立を支える事業として実施した。次年度からは、新生活を控える若者等も参加できるよう開催時期を春休みに計画する。
		子育て応援課	離乳食教室を12回実施し、113人の参加があった。うち父親の参加は18人(15.9%)であった。なお、育児参加促進を目的とした新米パパ教室を4回実施し、34人の参加があった。					継続して実施する。
		長寿介護課	介護者のつどいを3回開催するにあたり、チラシやはがきを配布し呼びかけた。					今後も年3回、男性も参加しやすい内容を検討し、継続して実施し、参加を呼びかける。また、出前行政講座や相談等で、育児・介護休業法について周知し、介護休暇等の取得を促す。
56	プレママ&パパサロンの実施	子育て応援課	年6回実施し、56組110人が参加した。夫婦での参加は54組であり、全体の96.4%であった。	○	○	○	○	継続して実施していく。
57	絵本を通じた子育ての参加促進	図書館	ブックスタート事業(年間22回)、すいようおはなし会(菊川週1回年50回)、0・1・2おはなし会(菊川月2回小笠月1回年36回)、日曜おはなし会(各館月1回年24回)さんさんおはなし会((小笠月1回年11回)を実施した。大人を対象とした赤ちゃん絵本のブックトークは小笠図書館において1回開催し8組の参加を得た。	○	○	○	○	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
58	男性に対する相談体制の周知	地域支援課	市ホームページ及び広報菊川へ県の相談窓口を掲載し、庁舎内でチラシを配架した。	○	○	○	○	継続して実施する。
59	市男性職員の育児参加のための休暇取得の促進	総務課	対象者に対して休暇取得が促進されるよう個別の声かけを実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。

基本施策(7) 家庭における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
60	幼児教育・保育サービスの充実	こども政策課	市内11園において、事業を委託し実施した。また、おおぞら認定こども園・愛育保育園・小笠北認定こども園については、一時預かり事業専任職員を配置し少しでも多くの方が利用ができる体制づくりをした。けやき子育て相談窓口にて申請受付を行い、延べ1,008件の利用があった。	○	○	○	○	今後も事業を継続するため各園と調整をとり事業を実施する。
61	延長保育及び放課後児童クラブの実施	こども政策課	延長保育事業について、市内園11か所にて実施した。放課後児童クラブについて、市内小学校10か所において実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。
62	リフレッシュ・一時保育の充実	こども政策課	市内11園において、事業を委託し実施した。また、おおぞら認定こども園・愛育保育園・小笠北認定こども園については、一時預かり事業専任職員を配置し少しでも多くの方が利用ができる体制づくりをした。プラザけやき子育て相談窓口にて申請受付を行い、延べ1,008件の利用があった。	○	○	○	○	今後も事業を継続するため各園と調整をとり事業を実施する。
63	ファミリーサポートセンターの利用促進	子育て応援課	市ホームページで周知、パンフレット配布等を行い、延べ197件の利用があった。現在依頼会員78人、提供会員21人、両方会員7人の登録がある。(令和8年3月末)	○	○	○	○	継続して実施する。
64	こども医療費の助成	子育て応援課	延べ114,906件、295,124,867円の助成をした。	○	○	○	○	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
65	健やかな発達支援	子育て応援課	親子ふれあい教室・就園児療育教室(計113回)や幼児相談(161件)の中で、対象児や保護者への継続的な支援を行った。また、随時の発達に関する相談や、学齢期の発達に関する相談も行った。	○	○	○	○	教室内容・相談対応の質の向上に努める。関係機関と連携して、切れ目のない支援に努める。 学齢期の発達に関する相談対応の質の向上にも努める。
		福祉課	放課後等デイサービス事業が周知・認知されたことや、事業所の増加により利用者数が増加傾向にある。また、就学前に対象児童の保護者向けに利用に向けての説明会を実施した。(支給決定者数:238人)	○	○	○		継続して実施する。
66	家庭児童相談の実施	子育て応援課	相談窓口の周知を継続し、相談実人数は290人であった。(令和8年3月末) 義務教育修了後の進路が未定で、学校や家庭が心配する児童の保護者と学校を介して顔合わせを行い、相談先としての引継ぎを行った。	○	○	○	○	引き続き関係機関と連携を図り、相談対応していく。
67	児童館・子育て支援センターの事業の充実	子育て応援課	令和7年度から開館日を週5日から週6日に増やし、子育て支援体制の充実を図った。	○	○	○	○	継続して実施する。
68	子育てサークルの支援	子育て応援課	児童館、社会福祉協議会、協働センターと連携し、県の子育て情報サイトへ情報提供を行った。	○	○	○	○	継続して実施する。
69	地域で子どもを育てる環境づくりの推進	学校教育課	各学校において食育体験等活発に地域と交流することができた。	△	△	△	△	学校が、学舎ディレクターや地域コーディネーターと連携しながら、より地域の特色を生かした活動を推進していく。
		社会教育課	放課後子ども教室は、9小学校中6校で開催した。 ボランティア体験活動は、前後期合わせて市内延べ128施設の受け入れがあり、小学5年生から高校3年生まで169人が活動した。					放課後子ども教室をコロナ禍以前と同様の水準である9小学校すべてで実施できるよう引き続き情報収集を行う。 ボランティア体験活動の周知を引き続きしていくと共に新たな受入場所を検討する。
70	介護相談や介護に関する情報提供等の実施	長寿介護課	介護者のつどいを3回開催した。	○	○	○	○	今年も年3回継続して実施する。
71	介護サービスの提供	長寿介護課	被保険者証送付時にチラシを同封する等市民への周知に努め、申請者に対し介護者手当の支給を年3回年行った。 事業所連絡会を2回開催すると共に、運営指導を8件行い、事業所へ情報共有を行った。	○	○	○	○	引続き、介護サービスの周知に努め、介護者の負担軽減を図っていくと共に、事業所への情報共有を行っていく。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
72	介護マークの普及・啓発	長寿介護課	出前行政講座や相談窓口等で介護マークを紹介し3枚配布した。	○	○	○	○	必要な方に行き渡るよう、今後も窓口や各種講座等でも市民に介護マークを周知していく。

基本施策(8) 職場における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
73	女性向け就労・就業支援セミナー等の開催	商工観光課	女性就労・就業支援事業として、4回のセミナーを開催し、延べ48人が参加した。	○	○	○	○	講義内容やタイトルの工夫により参加者の増加を目指す。
74	女性向け就労・就業相談窓口の開設	商工観光課	令和7年4月から令和8年3月にかけて、毎月1回なでしこワークを開催し、計384人が利用した。また、年3回企業ブースを設置し、ミニ面接会を実施した。	○	○	○	○	引き続きセミナー開催に合わせ、ミニ面接会等のイベントの開催を検討していく。
75	事業所への男女共同参画の意識啓発	商工観光課	地域支援課から配信依頼のあった啓発情報等を市内企業へメールで配信した。	○	○	○	○	継続して実施する。
		地域支援課	企業向けセミナーを開催した。事業所アンケートに男女共同参画社会づくり宣言のチラシ等を同封し啓発した。					継続して実施する。
76	男女共同参画社会づくり宣言事業所登録の促進	地域支援課	事業所アンケートに男女共同参画社会づくり宣言のチラシ等を同封した。市内事業所にメールにてチラシを送付した。	○	○	○	○	継続して実施する。
77	家族経営協定の締結の促進	農林課	家族経営協定締結家族増加に向け制度を啓発し、1件の新規締結を行ったため、家族経営協定締結数は増加した。	○	○	○	○	引き続き家族経営協定の締結を促進していく。
78	市役所の働き方改革の推進	総務課	希望者については、テレワークを行った。	○	○	○	○	継続して実施する。
		企画政策課	電子申請フォームの作成方法に関する研修会を初級編と実践編の2回に分けて開催したこと等により、電子申請フォームを作成することができる職員が増加したとともに、電子申請が可能な手続きが増加し、窓口対応時間の短縮等業務効率化を図ることができた。議事録作成支援システムについて、これまでのシステムに比べて識字率が高く、文字起こし時間の短いシステムに更新したことで、職員が議事録作成に掛かる時間をこれまでより短縮することができた。					次年度も職員研修会を開催し、電子申請が可能な手続きを増加させることや、議事録作成支援システムが使用できる場面を職員に周知する等システムの利用を促進することで、業務の効率化を図っていく。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
79	市職員を対象とした研修などの実施	総務課	課長級職員を対象にハラスメント防止に関する研修を実施した。	○	○	○	○	継続して実施する。
		地域支援課	市職員向けに性の多様性研修を実施した。					継続して実施する。
80	育児休業職員の職場復帰支援	総務課	育児休業者への情報提供を毎月実施した。	○	○	○	○	引き続き育児休業者への情報提供を月1回実施する。

基本施策(9) 地域社会における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
81	地域活動における女性の参画の推進	地域支援課	連合自治会において、翌年度の自治会役員選出依頼時に女性登用のお願いをした。	○	○	○	○	自治会長に限らず自治会には各種役員があることから、少しでも多くの女性が登用されるよう啓発をしていく。
82	地域活動に参画する人材の育成	地域支援課	市民協働団体向けのスキルアップ講座及びコミュニティ協議会懇話会、人材育成講座として「きくがわ高校生まちづくりスクール」及び「きくがわ未来塾」を開催(市民協働センター委託事業)した。	○	○	○	○	引き続き、地域活動に参画する人材やリーダーの育成のため講座を開催する。
83	誰もが参加しやすい地域活動の推進	地域支援課	会議や講座等の開催について、必要に応じて平日の夜間や土日での開催に努めた。	○	○	○	○	継続して実施する。
84	男女共同参画を推進する新たな取り組みの推進	地域支援課	企業向けセミナーにて市内企業の取組事例について紹介し、参加企業の情報交換の場となるよう交流会を開催した。	○	○	○	○	引き続き、新たな取り組みの発掘や、実施支援を行う。
85	地域活動への円滑な参画の促進	地域支援課	市民活動の拠点である庁舎東館多目的エリアをPRしたことで、相談者の増につながっている。施設利用や市民協働センターへの相談をきっかけに、新たな取り組みが生まれ、市民の「やりたい・やってみたいこと」の実現につながった。(市民協働センター委託事業)	○	○	○	○	継続して実施する。
86	地域活動や自治会などの負担軽減	地域支援課	課長会議等で全庁に向けて、取組方針(庁内ルール)を継続的に周知し市として負担軽減に取り組んでいく。	○	○	○	○	連合自治会や自治会にも協力していただき、継続して負担軽減に努めていく。

基本施策(10) 防災における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
87	男女共同参画の視点による防災活動の啓発や情報提供	危機管理課	女性と地域防災役員を対象に、共助をテーマとした防災ワークショップを開催した。女性中心の団体へ出前行政講座を行い、災害への備えについて説明した。	○	○	○	○	引き続き、ワークショップや出前行政講座等を通じて啓発や情報提供を行っていく。
88	性別によるニーズの違いに配慮した備蓄品などの配備	危機管理課	「菊川市防災備蓄計画」に基づき、女性に配慮した備蓄品目(生理用品等)を購入した。	○	○	○	○	備蓄の目標に沿って、備蓄量を達成するよう努める。社会情勢や防災会議に参加した女性からニーズ調査を行い、適宜見直しを図る。
89	防災分野における女性の参画推進	消防総務課	市内の幼稚園、保育園及びこども園に赴き防火指導を9回実施した。 市内の一人暮らし高齢者宅に赴き防火診断・指導を3回実施した。 消防署員と共に、消防団員や市内事業所等に対し、普通救命講習の講師として救急指導に14回従事した。 「春の火災予防週間」に合わせて防火のために夜間警戒巡視を行った。	○	○	○	○	女性消防団員の活動について活発化が図れている。SNSや広報菊川を用いたPR活動により団員の入団促進を図ると共に、防災・応急手当の普及啓発活動を実施する。
		危機管理課	年4回の地区防災連絡会のすべての回において、女性の防災参画の必要性について、説明した。 現役地域防災役員と地域の女性が交流するワークショップを実施した。 ワークショップに参加した女性を、各地区の地区防災連絡会や避難所運営委員会に危機管理課職員同伴のうえ、見学参加させた。					引き続き、女性の防災参画の必要性を説明していく。
90	女性の防災リーダーの育成や活動の啓発	危機管理課	現役地域防災役員と地域の女性が交流するワークショップを実施し、地域のためにできることを話し合った。 ワークショップに参加した女性を、各地区の地区防災連絡会や避難所運営委員会に危機管理課職員同伴のうえ、見学参加させた。	○	○	○	○	更なる啓発を進めていきたい。

基本目標4 あらゆる分野における女性の参画拡大(女性活躍のさらなる推進)

基本施策(11) 女性の政策や方針決定過程への参画拡大【重点】

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
91	市の審議会等への女性委員の登用促進	地域支援課全課	審議会等への女性委員の登用状況を把握する調査を実施した。また、3月の課長会議で各課に女性委員の登用について依頼した。	○	○	○	○	継続して実施する。
92	市女性職員の管理・監督職への登用促進	総務課	職員令和8年度昇任・昇格者 部長昇格者 4人中女性1人 課長昇格者 6人中女性0人 主幹昇格者 8人中女性0人 係長昇任者 7人中女性4人	○	○	○	○	引き続き資質を有する職員について、管理職・監督職への登用を図る。
93	女性の活躍事例などの情報提供	市長公室	スポーツや文化、地域活動等で活躍した女性について、広報菊川や市ホームページ、SNS等で発信した。 世界国際女性デーに合わせて、女性の活躍についてSNSで発信した。 また、年2回男女共同参画推進コラムを掲載した。	○	○	○	○	引き続き様々な分野での事例について活躍する女性を積極的に情報発信する。
		地域支援課	小学生への職業講話で講師を務めた女性消防士、警察官、バスの運転手などからコメントをもらい、ワンペーパーにまとめたものを配布した。また、広報菊川で女性が活躍する市内企業について紹介した。	○	○	○	○	継続して実施する。
94	企業などへの女性の登用促進についての情報提供と啓発	地域支援課	事業所アンケートを通じた情報提供を行った。 企業向けセミナーを開催した。 広報菊川で女性が活躍する市内企業について紹介した。	○	○	○	○	継続して実施する。
95	女性が起業するための支援	商工観光課	6月から8月にかけて創業支援セミナー(EnGAWAビジネススクール:全5回)を開催し7人(うち女性5人)が受講し6人(うち女性4人)が修了した。	○	○	○	○	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	令和7年度実施報告	評価				令和8年度に向けた見直し
				R4	R5	R6	R7	
96	農業分野における女性の参画の推進	農林課	ファーマーンプランの会に対し、講習会等活動支援を実施した。令和6年度より新規就農の相談を受けていた夫婦が認定新規就農者を取得した。 また、女性を含む就農者の増加に向け、令和5年度に作成した農業者紹介パンフレット等をはたちの集いや企業訪問の際に配布した。 将来の担い手及び女性農業者を増やすことを目的に、市内農業生産者(1社)及び連携協定締結先事業者(1社)と連携し学生農業体験を実施。3人の学生(内訳:大学生1人、高校生2人)が参加した。	○	○	○	○	パンフレット及び市ホームページを就農相談等に活用する。来年度も市内生産者(1社)やNPO法人(1社)と連携し、学生の就農体験を実施する。
97	様々な分野で活躍する女性の情報収集	地域支援課	各課が所有する女性人材を把握した。	○	○	○	○	継続して実施する。
98	若者へのキャリア教育の実施	企画政策課	高校生が地域課題について研究・活動した成果を発表する場として、高校生まちづくりプレゼンテーション大会を開催し、常葉大菊川高校及び小笠高校の生徒23人が7つのテーマについて発表を行った。	○	○	○	○	高校生が考える課題やテーマについて、市関係課も協力していくことで、発表内容の質を向上させるとともに、市の施策形成の参考としていく。
		社会教育課	市内3中学校でふるさと未来塾を開催した。市内事業者延べ37団体に協力いただき、生徒424人が参加した。					ふるさと未来塾への参加事業所に偏りが見えるため、各中学校に新規参加事業所を勧める。

第4次菊川市男女共同参画プラン 令和7年度 指標進捗状況

資料2-2

◆計画期間: 令和4年度～令和8年度

基本目標1 男女共同参画社会実現に向けた基盤の整備

基本施策(1) 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
1	成果指標	「男は仕事、女は家庭」という考えについて「反対である」「どちらかといえば反対である」と答える人の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	57.4%	-	-	-	-	58.4%	-	74.4%
2	活動指標	男女共同参画に関する広報・HP等への年間掲載回数	地域支援課	13回	14回	14回	14回	14回	17回		15回

基本施策(2) 多様な価値観、人権と性を尊重する意識づくり

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
3	成果指標	男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できるまちだと思ふ人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	地域支援課	57.1%	56.9%	57.3%	61.9%	62.3%	60.9%		64.0%
4	活動指標	人権教室の実施回数	市民課	4回	4回	5回	6回	5回	7回		5回

基本目標2 誰もが安心できる暮らしの実現

基本施策(3) あらゆる暴力の根絶

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
5	成果指標	セクハラ・パワハラを受けた人の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	10.8%	-	-	-	-	14.5%		8.1%
6	成果指標	暴力を受けたことがある方のうち、これまでに暴力について誰かに打ち明けたり、相談したことがある人の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	68.6%	-	-	-	-	57.3%		71.3%
7	活動指標	あらゆる暴力根絶に向けた啓発の件数	福祉課 地域支援課	1回	2回	3回	3回	3回	3回		3回

基本施策(4) 生涯を通じた健康支援

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
8	成果指標	健診や健康相談など病気の予防対策が充実していると思う人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	健康づくり課	66.0%	67.2%	65.3%	68.1%	74.8%	68.7%		76.0%
9	活動指標	5大がん検診の受診者数	健康づくり課	11,425人	11,301人	11,105人	11,241人	11,820人	11,054人		11,830人
10	活動指標	介護予防普及啓発事業の実施回数	長寿介護課	151回	211回	199回	191回	151回	191回		200回 ※1

基本施策(5) 様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
11	成果指標	障がいのある人が安心して暮らしていけるまちだと思ふ人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	福祉課	49.2%	49.1%	47.8%	51.1%	57.3%	53.0%		59.0%
12	活動指標	認知症サポーターの養成人数(延べ)	長寿介護課	4,111人	4,523人	4,712人	4,816人	5,253人	4,981人		5,853人

基本目標3 誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現(ワーク・ライフ・バランスの実現)

基本施策(6) 男性にとっての男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
13	成果指標	「仕事、家事、育児、介護について男女がどのようにかわるべきだと思いますか」の問いに対し、「男女ともに職業をもち、家事・育児・介護は男女で分担する」と回答した男性の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	77.9%	-	-	-	-	83.2%		88.7%
14	成果指標	市男性職員の育児休業取得率	総務課	0.0%	0.0%	46.7%	33.3%	10.4%	37.5%		85% ※1
15	活動指標	プレママ&パパサロンの開催回数	子育て応援課	3回	6回	6回	6回	4回	6回		6回 ※1

基本施策(7) 家庭における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
16	成果指標	安心して子どもを育てられるまちだと思う人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	子育て応援課	82.0%	78.0%	76.8%	79.1%	87.4%	79.3%		88.0%
17	成果指標	高齢者とその家族を支える介護サービスが充実していると感じる人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	長寿介護課	60.0%	56.0%	56.5%	56.8%	64.9%	61.8%		66.0%
18	活動指標	子育て支援センターの利用者数	子育て応援課	29,734人	27,422人	39,072人	40,398人	62,000人	42,358人		67,700人

基本施策(8) 職場における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
19	成果指標	男女共同参画社会づくり宣言事業所の団体数	地域支援課	26団体	29団体	31団体	31団体	32団体	33団体		35団体
20	活動指標	事業所への男女共同参画の啓発件数	地域支援課	3回	3回	3回	3回	3回	4回		3回

基本施策(9) 地域社会における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
21	成果指標	家庭における夫婦の役割分担の現状について「地域行事への参加」夫婦が共同で行っている場合の割合(男女共同参画市民アンケート)	地域支援課	79.5%	-	-	-	84.5%	79.3%		86.7%
22	活動指標	男女共同参画推進に関する活動を行う市民団体数	地域支援課	7団体	8団体	9団体	7団体	9団体	9団体		10団体

基本施策(10) 防災における男女共同参画の推進

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
23	成果指標	避難所運営委員会における女性の割合	危機管理課	11.3%	10.2%	15.3%	15.9%	上昇	8.8%		上昇
24	活動指標	男女共同参画の視点を含んだ防災講演会や講座などの開催回数	危機管理課	3回	4回	4回	6回	3回	4回		4回

基本目標4 あらゆる分野における女性の参画拡大(女性活躍のさらなる推進)

基本施策(11) 女性の政策や方針決定過程への参画拡大【重点】

No.	指標区分	項目	評価担当課	プラン策定時 (R2)	R4	R5	R6	R6 (中間目標)	R7	R8	R8 (最終目標)
25	成果指標	市の審議会等委員に占める女性の割合	地域支援課(各課)	26.4%	28.4%	28.5%	29.0%	30.4%	29.3%		33.0%
26	成果指標	市の係長級における女性職員の割合	総務課	18.5%	28.7%	29.5%	35.0%	23.7%	34.9%		30% ※1
27	活動指標	女性就労支援事業の就労相談窓口の開催件数	商工観光課	10回	12回	12回	12回	12回	12回		12回

※1 令和5年度の実績報告において、すでに最終目標値を上回っていたため、最終目標の見直しを行いました。